



寿司と串とわたくし 名古屋駅柳橋店

2024年2月期第3四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2024年1月12日



会社概要



会社名	株式会社ジェイグループホールディングス
本社所在地	名古屋市中区栄三丁目4番28号
設立	1997年3月3日
代表者	新田二郎(代表取締役会長) 中川晃成(代表取締役社長)
資本金	10百万円(2023年8月末日現在)
従業員数	グループ計1,568名 ※内正社員数377名(2023年8月末日現在)

子会社

株式会社ジェイフィールド
株式会社ボカディレクション
株式会社かわ屋インターナショナル
株式会社かわ屋東京
株式会社ジェイアセット
株式会社ジェイキャスト
NEW FIELD NEW YORK.LLC.

飲食サービス業を中心に関連事業を展開

当社グループは食文化を主軸とした総合サービス企業を目指し、フードサービスを中心に飲食事業、不動産事業、およびその他関連事業を展開しております。



目次

1. 連結決算概要

サマリー	5
連結損益計算書概要	6
連結貸借対照表概要	7
セグメント別業績概況	8
店舗数の推移	9
店舗ポートフォリオの改善	10
店舗ポートフォリオの改善進捗	11
既存店コロナ前比(売上・客数・客単価)	12
既存店コロナ前比 (リニューアル店舗と従来店舗比較)	13
飲食関連業態の収益性	14
収益構造の改善	15

2. トピックス

「高速道路」	17
「かわ屋」	18
「寿司居酒屋」の出店加速	19
新店舗紹介 (サーモンパンチ業態からのリニューアル)	20
新店舗紹介 (中・大型店舗のリニューアル)	21
資産の流動化と事業の整理	22
テレビ等の放映実績	23
今期の業績見通し	24
株主還元について	25





1. 連結決算概要



1

増収増益、営業利益は上場後の最高益を達成

営業利益+151百万円と黒字化し、コロナ前水準を上回る
前期差+1,066百万円、コロナ前差+363百万円

業績改善

2

既存店売上高コロナ前比100%超え

今期累計既存店売上高コロナ前比は105.9%
客単価106.0%、客数99.9%

3

監査等委員会設置会社へ移行

取締役会における議決権を付与することで、監査・監督機能の強化、
コーポレートガバナンス体制の充実を図る

経営体質
強化

4

子会社再編

- ①KAKEHASHI,S.L.U.(バルセロナ)売却
- ②株式会社ジェイプロジェクト、株式会社ジェイブライダルを
株式会社ジェイグループホールディングスが吸収合併

連結損益計算書概要



売上高: 7,660百万円、営業利益: 151百万円、純利益: 150百万円

コロナ禍の収束により、連結売上高は前年対比134.7%の増収となり、営業利益、当期純利益は上場以来最高益を達成。

(百万円)

	2023年2月期 第3四半期		2024年2月期 第3四半期		前年同期比 (%)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	5,686	100.0	7,660 ¹	100.0	134.7
売上原価	1,997	35.1	2,552	33.3	127.8
売上総利益	3,688	64.9	5,108	66.7	138.5
販売管理費	4,603	81.0	4,956	64.7	107.7
営業利益	△914	-	151 ²	2.0	—
営業外収益	200	3.5	75	1.0	37.7
営業外費用	81	1.4	66	0.9	81.5
経常利益	△795	-	160	2.1	—
特別利益	674	11.9	80	1.1	11.9
特別損失	197	3.5	105	1.4	53.3
税引前四半期純利	△318	-	135	1.8	—
当期純利益	△332	-	150 ³	2.0	—

- ¹ 2023年3月のマスク着用ルール緩和、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行などコロナ禍の終息の影響により連結売上高は前年対比134.7%へ増加。
- ² 増収に応じて、売上原価、販売管理費も増加するも、営業利益は1,066百万円改善し、151百万円となる。
- ³ 子会社再編に伴う、繰延税金負債の取崩し45百万円。

連結貸借対照表概要



			(百万円)	
	2023年2月期 期末	2024年2月期 第3四半期	2023年2月期 期末	2024年2月期 第3四半期
資産の部			負債の部	
流動資産			流動負債	
現金及び預金	1,930	1,811 1	買掛金	2,024
売掛金	1,357	1,126	短期借入金 ※1	232
棚卸資産	290	389	その他	507
その他	85	101	固定負債	1,285
	196	193	長期借入金 ※2	6,138
固定資産	7,393	7,249 2	その他	865
有形固定資産			負債合計	8,163
建物及び構築物	6,030	5,921	純資産の部	7,680
土地	2,198	2,077	株主資本	
その他	3,620	3,620	資本金	1,196
無形固定資産	211	222	資本剰余金	58
投資その他の資産	327	305	利益剰余金	5,262
繰延資産	1,035	1,023	自己株式	△4,049
	0	0	その他の包括利益累計額	△76
資産合計	9,324	9,061	新株予約権	△60
			非支配株主持分	0
			純資産合計	9
			負債純資産合計	24
				36
				1,160
				1,381 5
				9,324
				9,061

- 1** 借入金返済等により、118百万円減少。
- 2** 不採算店舗の撤退等を進めたことにより、143百万円減少。
- 3** 株主総会決議により資本金を10百万円に減資後、新株予約権の発行により32百万円に増加
- 4** 株主総会決議により資本剰余金から1,174百万円を、利益剰余金に振替。
- 5** 当期純利益150百万円を計上したこと等により、220百万円増加。

※1：一年以内返済予定長期借入金を含む

※2：資本性劣後ローンを含む

セグメント別業績概況



飲食事業

2023年3月のマスク着用ルール緩和、5月の新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響等により、売上高は前年同期比140.9%

売上高	: 7,161百万円	前年比	140.9%
営業利益	: 765百万円	前年差	+1,320百万円

不動産事業

自社保有の商業ビル等のテナント契約数が増加したことにより、増収増益。
(注: グループ内セグメント間取引を除いています。)

売上高	: 289百万円	前年比	133.7%
営業利益	: 70百万円	前年差	+57百万円

その他

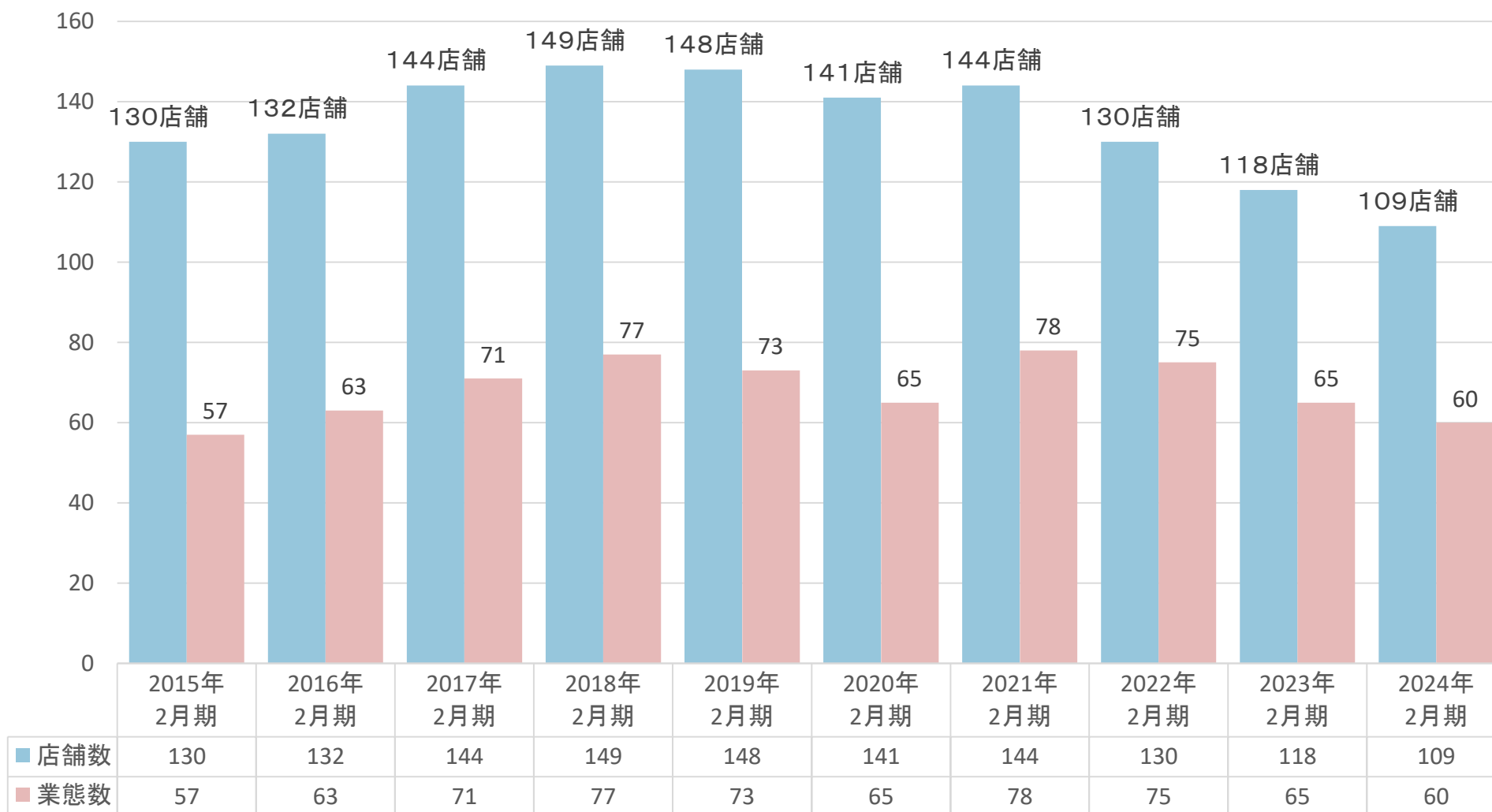
ブライダル、卸売、人材派遣、サウナ等の事業を運営。
ブライダルの運営を外部委託に変更したことにより収益は大幅に改善

売上高	: 285百万円	前年比	61.5%
営業利益	: △83百万円	前年差	+88百万円

店舗数の推移



2024年2月期第3四半期末時点で
新規出店2店舗・業態転換7店舗・閉店10店舗となり
60業態、109店舗体制となる



コロナ禍に取り組んできたポートフォリオの変更方針

大型店舗→小型店舗	都心店舗→郊外店舗	総合業態→専門業態
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱大宴会依存 ✓ 友人・家族ら少人数での利用 ✓ 投資効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 住宅街での日常使い需要に対応 ✓ 繁華街より安価な家賃 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱総合居酒屋 ✓ 脱酒類業態 ✓ 目的来店促進

アフターコロナに対応するため戦略的に新店・リニューアル・閉店を実施

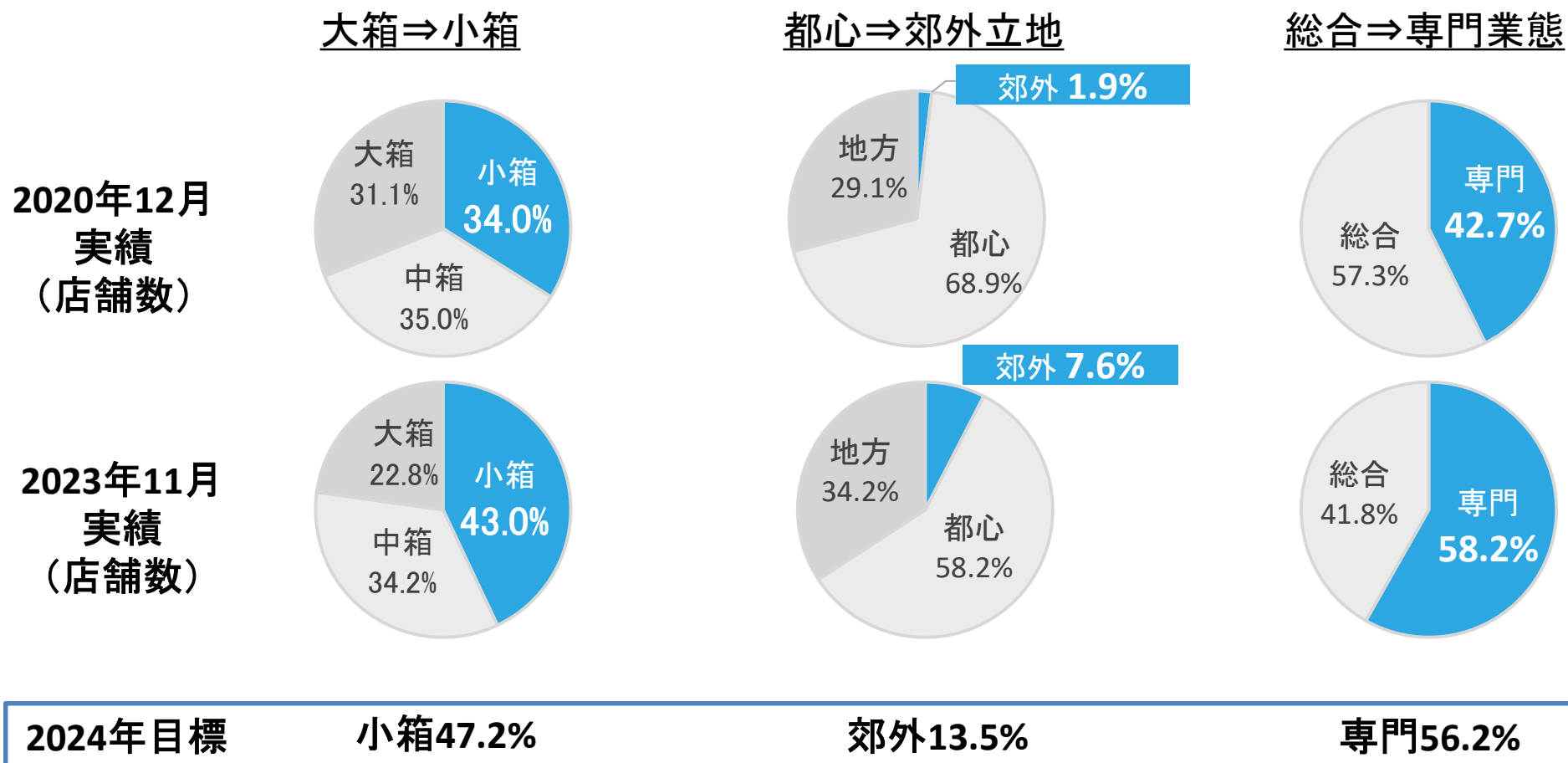
	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	合計 (21年2月期～23年2月期)	2024年2月期 第3Qまで	合計
閉店	14店	21店	16店	51店	11店	62店
出店	16店	8店	4店	28店	2店	30店
業態転換	9店	12店	7店	28店	7店	35店

コロナ禍に入って、閉店:62店舗、出店:30店舗、業態転換:35店舗、を実施し、ポートフォリオの改善を実施してきました。

店舗ポートフォリオの改善進捗



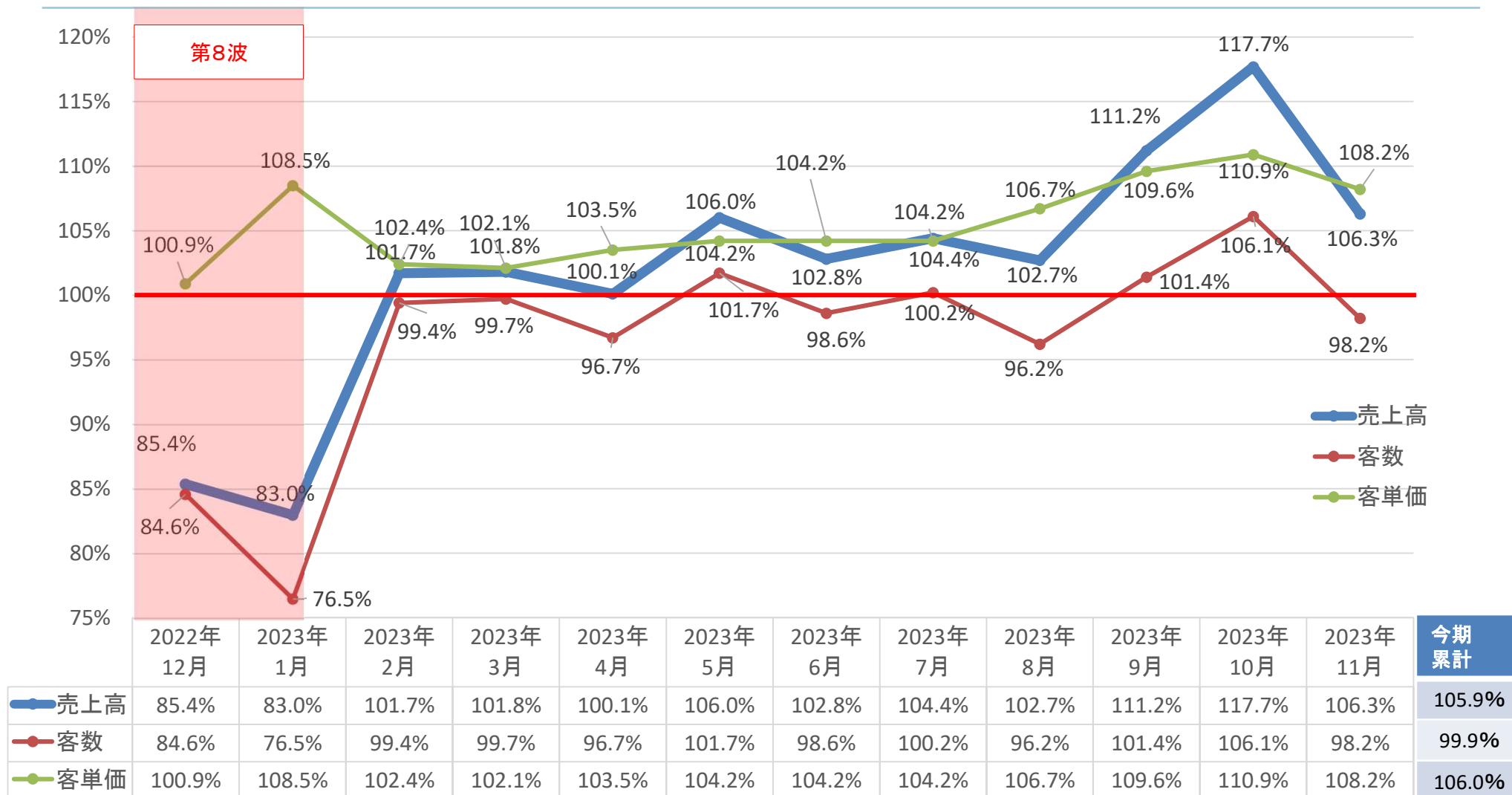
ポートフォリオの見直しを継続して行い、収益性改善を今後も進めていく



コロナ禍になって掲げた店舗ポートフォリオの改善計画に対して、予定通り進んでいる。

※60坪以上は大箱、40～60坪は中箱、40坪未満は小箱とした。都心は東京都/名古屋市の商業地域、郊外は左記の住宅立地、地方はその他(主に地方都市)と定義。
郊外の例: 名古屋市 地下鉄東山線沿線(池下～藤が丘)、大曽根等、東京都 JR中央線沿線(中野、吉祥寺)、武蔵小杉、町田等

既存店コロナ前比(売上・客数・客単価)

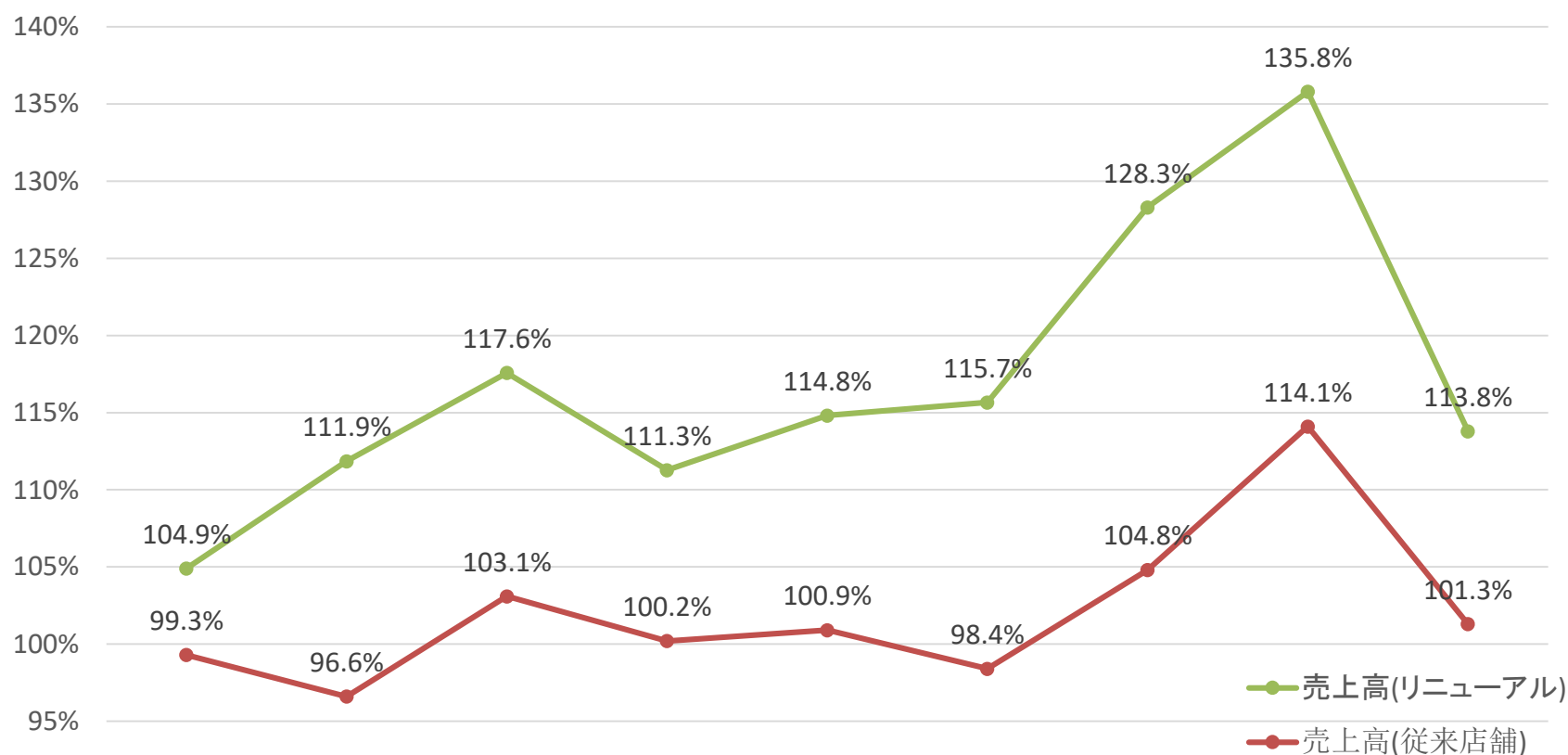


売上：第8波の終息後、コロナ前を超える水準で推移。

客単価：第8波終息後は、徐々に上がっていき11月末時点で「108.2%」まで伸びた。

客数：ほぼコロナ前水準まで回復。

既存店コロナ前比(リニューアル店舗と従来店舗比較)



	2023年 3月	2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	今期累計
● 売上高(リニューアル)	104.9%	111.9%	117.6%	111.3%	114.8%	115.7%	128.3%	135.8%	113.8%	116.0%
● 売上高(従来店舗)	99.3%	96.6%	103.1%	100.2%	100.9%	98.4%	104.8%	114.1%	101.3%	102.1%

既存店売上を、リニューアルしている既存店と、していない既存店に分けて表記
 コロナ禍でリニューアルした店舗が、コロナ前を大幅に上回る実績を出しているため、既存店全体の業績を押し上げている

全業態が高収益体質に

(百万円)

業態		ジャンル	売上高	営業利益	営業利益率	ブランド	
居酒屋業態	テーマ型	焼酎 日本酒 九州料理	1,818	307	16.9%	芋蔵 光蔵 吟醸マグロ	きじょうもん きばくもん
	総合型		1,297	284	21.9%	てしごと家 ほっこり 新九	えどわん 三枘三蔵 跳魚
専門業態		寿司 焼肉 焼き鳥	680	93	13.7%	寿司と串とわたくし 寿司と天ぷらとわたくし すしつま	燦家 焼肉ゆたか かわ屋
その他		バル 高速道路 ノナル サウナ 等	3,319	300	9.1%		

不採算店舗の閉鎖や、業態転換等により主要業態は高い収益性を回復。

収益構造の改善



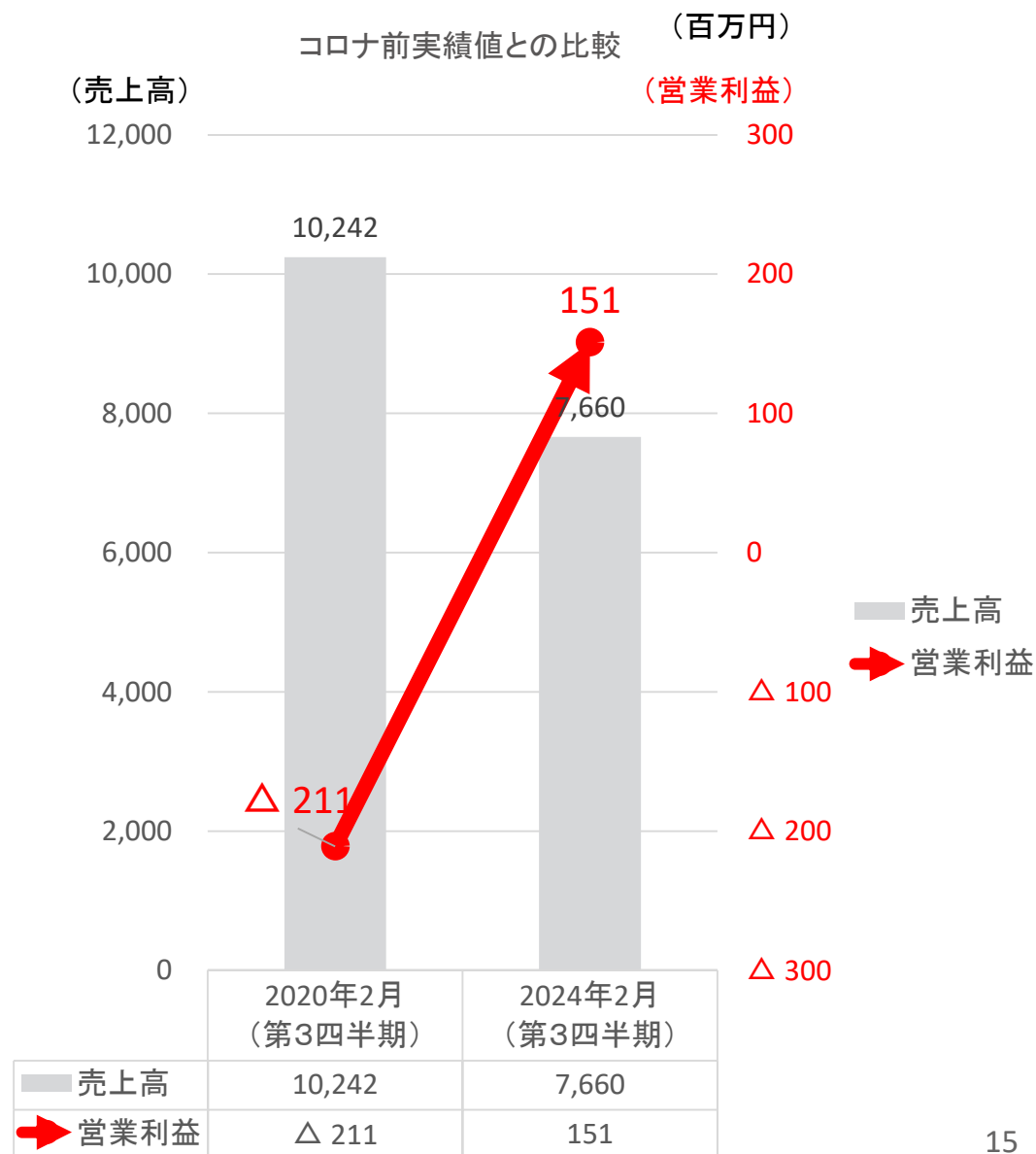
売上高はコロナ前比約70%に減少も、営業利益は363百万円改善し筋肉質な体質に

コロナ中に改善を行い、損益分岐点を下げた結果、現在は72億円の売上高で黒字を達成

主な経費のコロナ前比較

- ・原価率 +0.9% 昨今の物価高の影響により上昇
- ・人件費率 $\Delta 2.0\%$ 作業の効率化、集中加工場、QRオーダーシステムの導入、ワークスケジュール管理の徹底等により減少
- ・販管費率 $\Delta 2.9\%$ (減価償却費 $\Delta 2.2\%$) (人件費除く) (地代家賃 $\Delta 2.0\%$)

減損処理、不採算店舗の閉鎖等の処理を進めたことによる、減価償却費の減少、及び地代家賃比率が減少し、販管費全体(人件費除く)は減少





2. トピックス



「高速道路」



大津SAの改装を実施し、売店、テイクアウト、カフェを強化
第二の拠点として運営を開始した「かわしまファーマーズ」は安定的な運営を継続
今後も、拠点数を増やしていく予定

①「名神高速道路下り線大津SA」の改装を実施



②「東海北陸自動車道川島ハイウェイオアシス」内
「かわしまファーマーズ」を運営



- 大津SAは2023年7月に売店・テイクアウトコーナー・カフェ区画を改装
- 川島ハイウェイオアシス内かわしまファーマーズは2023年2月27日より運営開始

「かわ屋」



新たにFC加盟店が2店舗増えて8店舗に！
かわ屋店舗は14店舗に
今後も積極的にFC店舗の出店を加速！



博多 **か屋**

直営 6店舗

(名古屋2店舗・豊田・豊橋・静岡・大井町)

FC加盟店 8店

(東京都3店・札幌2店・大阪2店・京都)

※2023年12月末時点



新 博多かわ屋人形町店

オープン日:2023年12月20日

東京都中央区日本橋富沢町11-15-11



新 博多かわ屋天三店

オープン日:2023年12月26日

大阪府大阪市北区天神橋3丁目9-18



「寿司居酒屋」の出店加速

好調な小型店の寿司居酒屋業態の展開に加えて、新たに大型店・中価格業態を開発し展開
 今後も、マーケットにより両ブランドを展開予定

小型タイプ 客単価3,500円

寿司と串とわたくし

SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI

寿司と天ぷらとわたくし

SUSHI TO TEMPURA TO WATAKUSHI

- 5店舗目を名古屋駅柳橋に出店

オープン日	店舗名	形式
2020年12月10日	寿司と串とわたくし (名古屋栄)	リニューアル
2021年4月20日	寿司と天ぷらとわたくし (京都烏丸)	リニューアル
2022年9月5日	寿司と串とわたくし (京都三条大橋)	リニューアル
2022年10月4日	寿司と天ぷらとわたくし (名古屋藤が丘)	新規出店
2023年8月26日	寿司と串とわたくし (名古屋駅柳橋)	リニューアル

大型タイプ 客単価5,000円

鮮魚 天ぷら
 すしつま

- 業績、お客様の評価共に好調に推移
- 客単価も想定通り推移

オープン日	店舗名	形式
2023年2月28日	すしつま (名古屋駅)	リニューアル



新店舗紹介（サーモンパンチ業態からのリニューアル）



主カブランドへのリニューアルを加速

名古屋めし・名古屋名物



「丁寧な“てしごと”で伝える
名古屋めしの美味しさと魅力
どて煮込みや鉄板ナポリタンなど
名古屋名物料理が目白押し！

エリア：名古屋 金山
オープン日：2023年9月13日
店舗サイズ：52坪
席数：70席

客単価：3,500円(夜)



渋谷で人気の
「沖縄料理 あしびな〜」の姉妹店
として、カジュアルな琉球酒場を
オープン

エリア：東京 渋谷
オープン日：2023年10月6日
店舗サイズ：25坪
席数：38席

客単価：3,500円



新店舗紹介 (中・大型店舗のリニューアル)



中・高単価の価格設定を行い他社との差別化を図る

酒ト和食
ほっこり
OTONA NO MESHYA
京都木屋町本店

京都エリアに、「ほっこり」ブランド
4店舗目となる
「酒ト和食 ほっこり」を新たに
オープン

エリア: 京都 木屋町
オープン日: 2023年10月23日
店舗サイズ: 50坪
席数: 80席

客単価: 4,500円



酒と肴と出汁しゃぶ
くぐる

名古屋駅近くのルーセントタワーに
個室で味わう“肴”と“出汁しゃぶ”
の新しいコンセプトのお店をオープン

エリア: 名古屋駅 ルーセントタワー
オープン日: 2023年12月5日
店舗サイズ: 56坪
席数: 60席

客単価: 6,000円



資産の流動化と事業の整理



保有する商業ビル・レジデンスを流動化及び有効活用を進める

現在保有不動産(5件)



J-Group 本社・新九



ジェイテル名駅



EXIT NISHIKI



jG金山



ジュール則武

過去売買実績

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曾根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島

海外店舗の撤退

2022年2月に連結子会社であるNEWFIELD HONOLULU,INC(ハワイ)を売却

2023年6月にKAKEHASHI, S.L.U.(バルセロナ)を売却

テレビ等の放映実績



2023年4月以降のテレビ、ラジオ等の放映実績を抜粋

ジャンル	放映日	番組名	店舗名	概要
テレビ ラジオ	4/22	ウラマヨ	大津SA	GWおすすめスポット紹介
	4/27	ラヴィット!	かわ屋大井町店	
	4/28	大阪ほんわかテレビ	大津SA	かわ屋のかわ焼き・大津ちゃんぽん・ドライバーズコーナーの紹介
	4/28	ぐっと	ただハンバーグが食べたい名駅店	お店のハンバーグをアレンジし、神島店長が家庭で作れるハンバーグの作り方を教える
	4/30	前略、大とくさん	かわしまファーマーズテーブル	飛騨牛A4ランクの肉ひつまぶしセットをメインにかわしまタンメンなど料理紹介。
	5/4	千原ジュニアのへべレケ	芋蔵栄店	おすすめメニュー紹介
	6/7	スイッチ!	MouMouCafeアスナル金山店	ボンボンチーズケーキの紹介
	6/27	めざましテレビ	サーモンパンチ渋谷店	サーモングルメ
	6/29	News every	サーモンパンチ渋谷店	
	7/1	ズームイン! サタデー	サーモンパンチ渋谷店	
	7/17	おはよう朝日です	大津SA	
	9/13	ひまわり11	寿司と天ぷらとわたくし藤が丘店	地域の食に関する魅力を発信する
	9/13	朝日新聞	焼肉ゆたか	TBSドラマ「VIVANT」のロケ地使用
	11/8	めざましテレビ	MouMouCafeアスナル金山店	ボンボンチーズケーキの紹介
	11/18	ぐっさん家	Private Sauna EXIT	サウナについて
11/29	スイッチ	ただハンバーグが食べたい名駅店	ハンバーグ	
雑誌	9/29	第三文明	でーもん	
	11/30	東海Walker特別編	Private Sauna EXIT	「サウナ&スーパー銭湯&日帰り温泉MOOK」
ネット	11/16	YouTube	Private Sauna EXIT	【ESPOIR-TRIBE-エスポワール・ドライブ】

今期の業績見通し



(百万円)

	2023年2月期 通期実績	2024年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	8,013	10,000	124.8%
営業利益又は営業損失(△)	△1,032	160	—
経常利益又は経常損失(△)	△901	140	—
親会社株主に帰属する当期純利益または当期純損失(△)	△549	130	—
配当金	中間 無配 期末 無配	中間 無配 期末 未定	

※2024年2月期の配当につきましては、先行き不透明な経営環境が続くことが予想されるため、合理的な配当予想の判断が困難なことから、現時点におきましては未定とします。

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、**株主優待制度は引き続き実施いたします。**

また、代替商品につきましても新たに、2023年11月より「**星空の黒牛焼肉**」と、「**愛知みかわ豚しゃぶしゃぶ・生ハンバーグセット**」を追加いたしました。

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

代替商品のご案内

➤ 4,000円コース

- ・ 猿Cafeブレンド
- ・ カタログギフトA
- ・ 新九の紫(焼酎)720ml

➤ 8,000円コース

- ・ 本場さつまあげ大盛セット
- ・ カタログギフトB
- ・ 新九の紫(焼酎)1800ml

➤ 12,000円コース

- ・ カタログギフトC
- ・ **星空の黒牛焼肉**
- ・ **愛知みかわ豚しゃぶしゃぶ・生ハンバーグセット**



※赤い字の商品が新たに追加された商品になります。

【 I Rに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL : 052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や

債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。